



地域おこし協力隊活動記

こんにちは。地域おこし協力隊の阿井伸介です。

3月23日に今年初めてのベルサルーテの組合員の皆さんの畑を廻り、にんにくの生育をチェックし、収穫までの管理について、宇川クリーンファーム(猪苗代町)代表の宇川進先生からご指導を受ける圃場指導会に参加させていただきました。

今年になり例年に比べ寒暖の差が激しいとよく耳にしていたので、つどっておのまちの農園に植えてある玉ねぎがまだ細いのはしょうがないんだと自己肯定に走りつつ、ベルサルーテのにんにくの生育はいかがなものかと心配していました。

しかしながら組合員の方々はさすがプロで、どの畑も生育が良く、宇川先生も「ええあんばいだ」を連発されていました。それでもより良いものを収穫するべく、その後の管理の話が飛び交います。宇川先生と組合員の皆さんの間で“いつ頃〇〇の肥料をかけて”“今こういう施肥をしてるんだよね”などの真剣な会話が聞こえてきました。ここでもさすがだなと思いつつも、昨年は皆さんの会話が外国語のように聞こえていた自分でしたが、なんとなく「このことを言っているのだな」とわかる部分が増えており、小野町に来て一年経ったのだな、早いものだなと思った次第です。

この記事が載る頃には第2回の圃場指導会が予定されており、収穫まであと一カ月ほどとなっていると思います。おそらく、次に私が広報の記事を書く頃には、収穫の状況をご報告できるのではないのでしょうか。ぜひ黒にんにくに

限らず、このように手塩にかけた小野町の野菜を食べてみてください。

今回はもう一つ、コロナ禍で新しい生活様式を…、と言われ始めて早一年ほど。オンラインという言葉が一般生活に定着し、リモートワークなども身近なものになりつつあるかと思えます。

そこで、情報処理安全確保支援士(ややこしい名称ですが、元は情報セキュリティスペシャリストと呼ばれた資格です)の国家資格を持っている私から住民の皆さんに注意喚起をさせていただきたく思います。安全確保支援士を所管している情報処理推進機構(IPA)では昨今、仕事のやり取り(リモートワークなど)やコミュニケーションの場としてオンラインの活用機会が増えたことを受け、セキュリティ意識の重要性を強調してきています。

そこで、時間がある時に少しだけインターネットにつないで、「IPA ここからセキュリティ」と検索してみてもいかがでしょうか。そこにはパソコンやスマートフォンのウイルスに関するたくさん記事があり、「家族と見る」「子供と見る」と銘打って、アニメや地方の警察署が製作した実写動画などで、ITを使った詐欺、ウイルス感染などを紹介しています。実際、あるホームページを見ただけでウイルスに感染するという事例も昨今では珍しくなくなっています。パソコンやスマートフォンなど使い方によっては思いがけない危険があるという事例が紹介されていますので、少しでも目を通していただくことをおすすめします。



真剣に土づくりの相談をする組合員の皆さん



何となく話の内容が理解できるようになった私(右)